

Javaインストーラマニュアル

はじめに

本学ではプログラミング言語であるJavaを用い、授業を行う科目があるため、そういった授業に対応するために、ここでは **Windows** 向けの **Java** の環境構築を行う手順を紹介します。

以下、画像などで **Java** ではなく、**jdk(JDK)** と表記されることがあります。

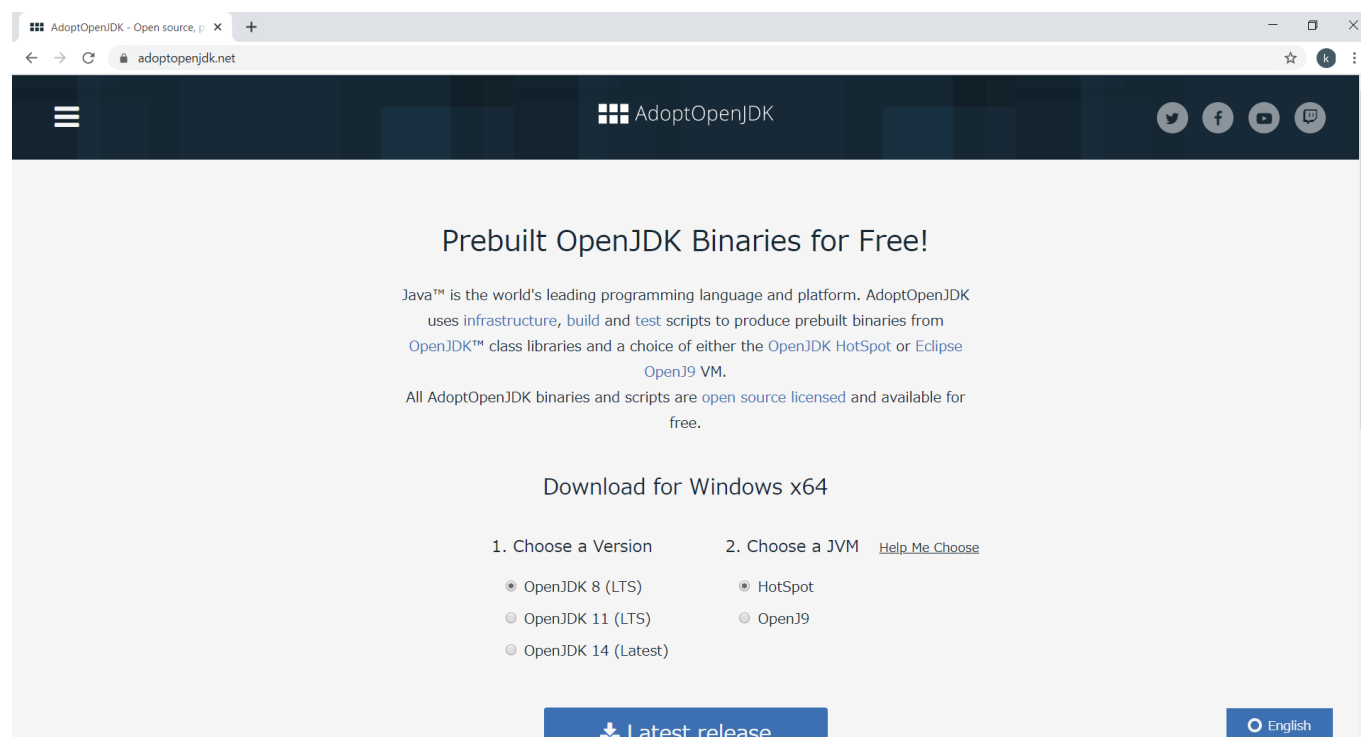
※ **jdk(JDK)** とは **Java SE Development Kit** の略で、Javaのコンパイラ等が内包されています。

手順1: インストーラーをダウンロード

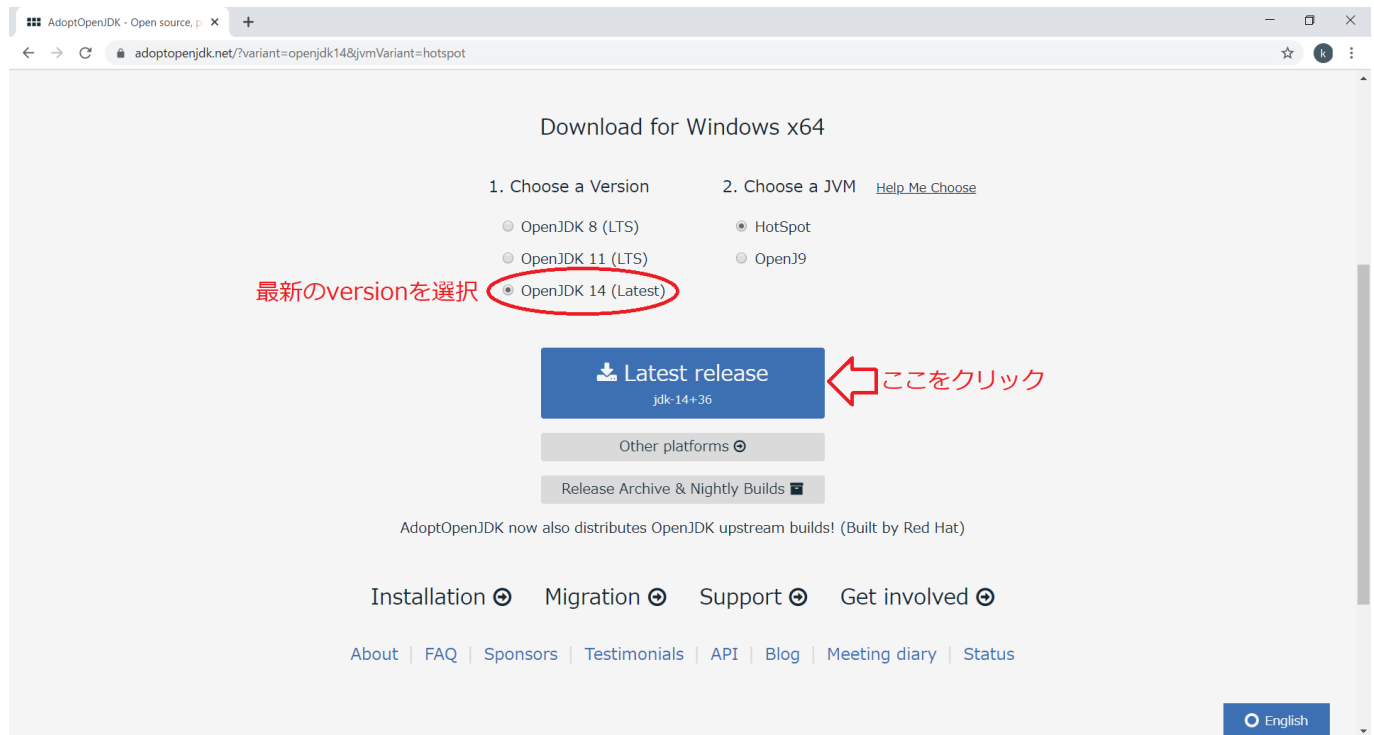
このマニュアルではダウンロードを **Chrome** から行っていますが、ブラウザの指定はありません。

下記URLにアクセスして以下のページを開きます。

<https://adoptopenjdk.net/>



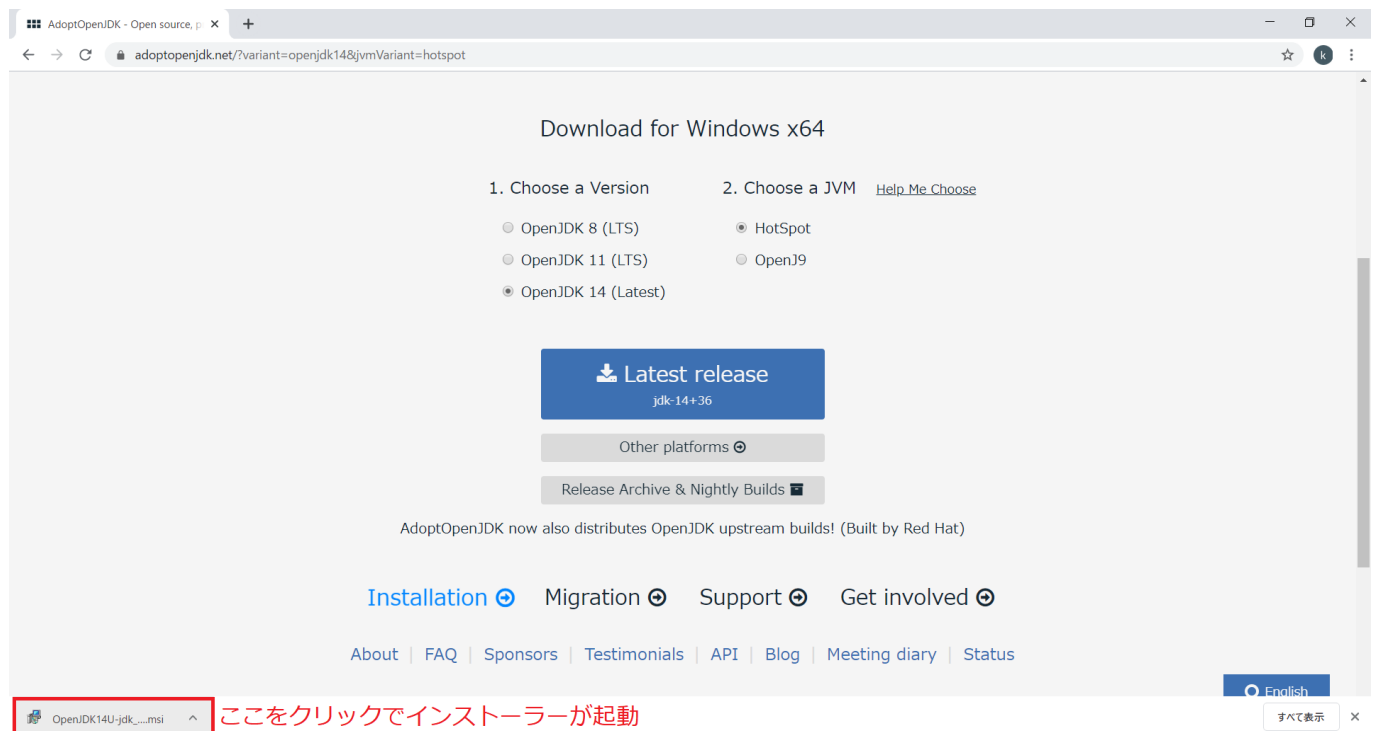
Choose a Version は最新のものを選択します。(画像では14になっています。)



青い **Latest release** ボタンを押下するとダウンロードが始まります。

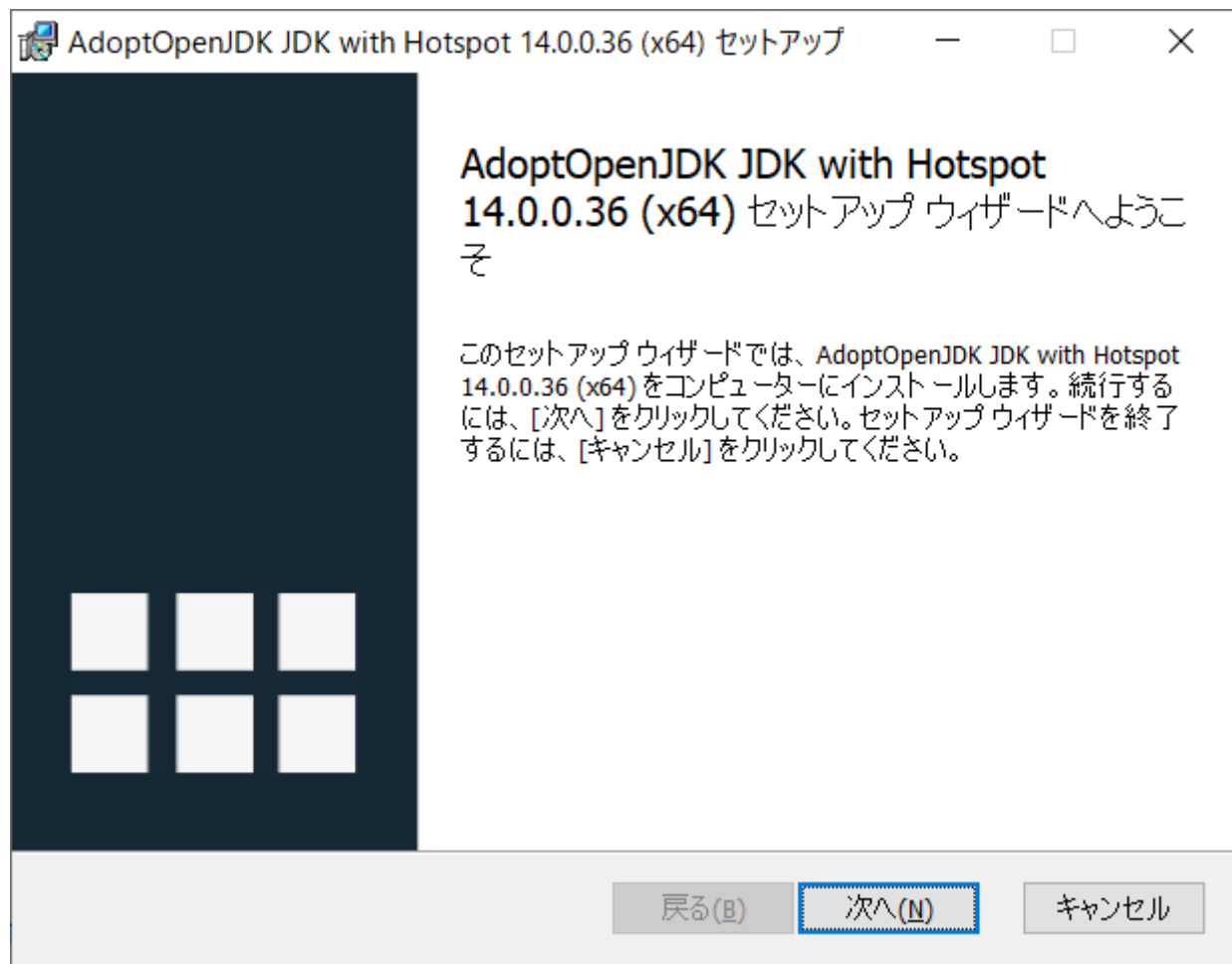
手順2: インストーラを起動

ダウンロードが完了したらインストーラを起動します。**Chrome** でダウンロードした場合、画面左下にダウンロードのログが残るので、そこをクリックするとインストーラが起動します。



画面にダウンロードのログが残っていない場合は、自身のパソコンのダウンロードファイル内からインストーラを起動します。

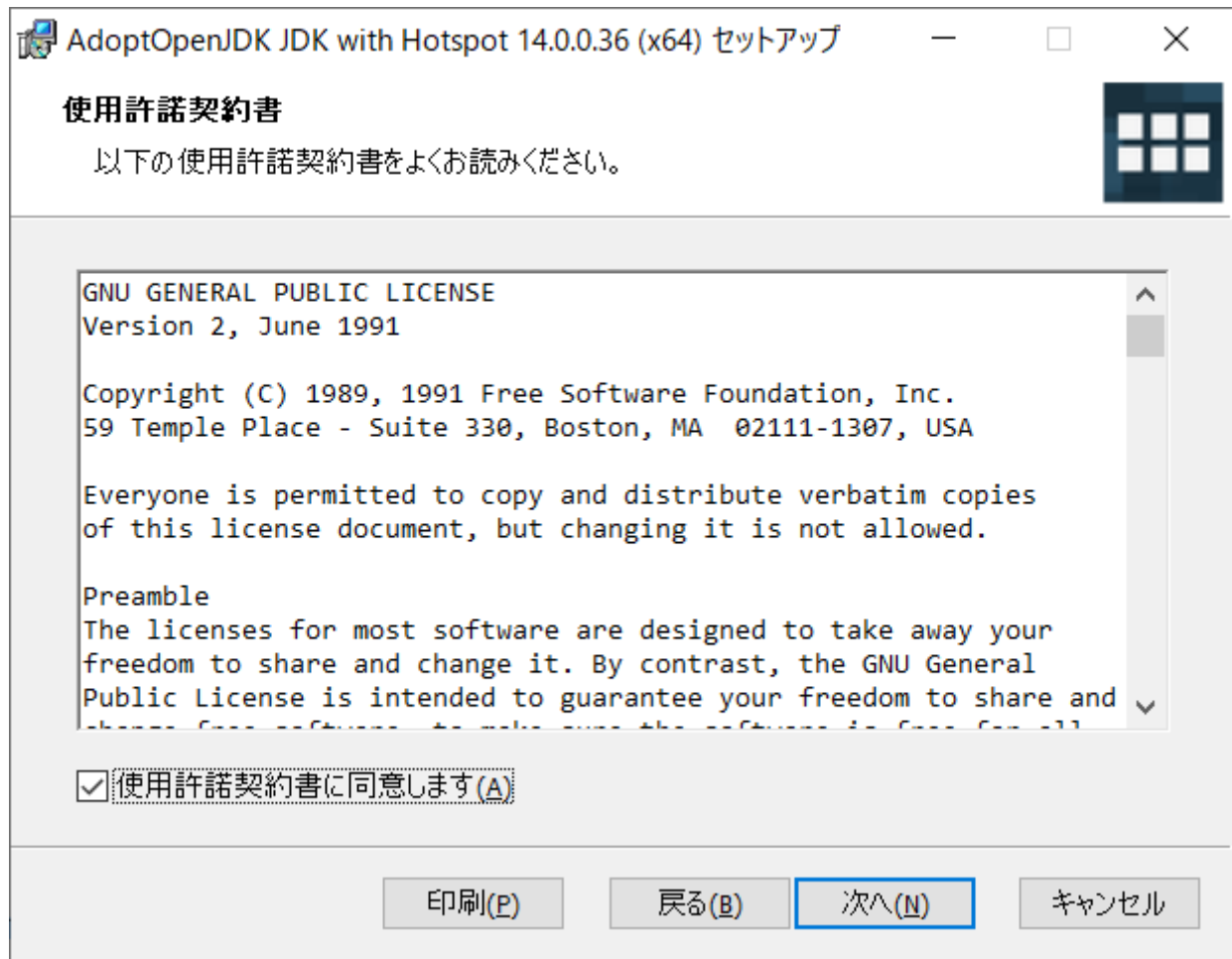
インストーラを開くと以下のような画面が立ち上がります。



手順3：インストールの設定

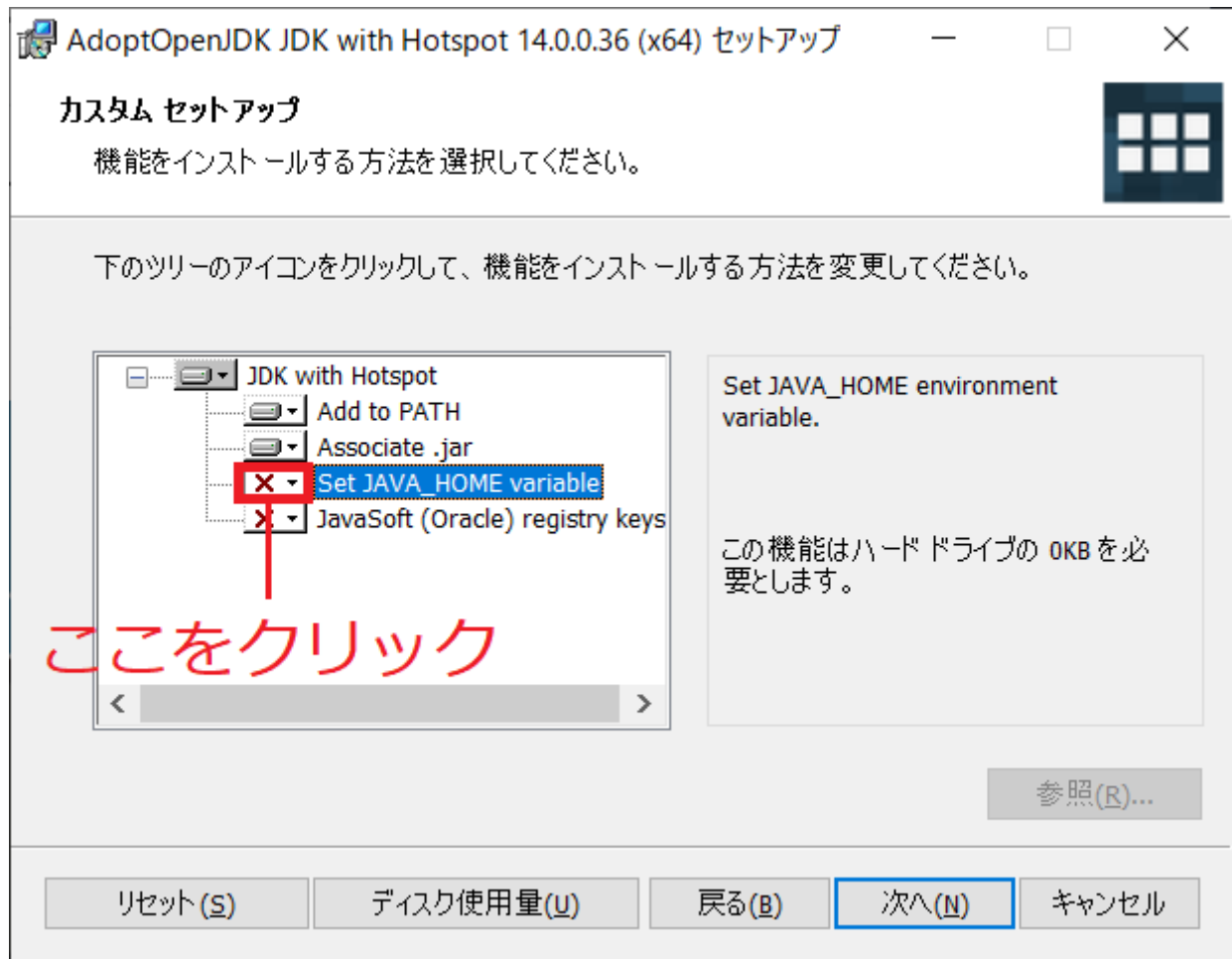
インストーラーの画面が立ち上がったら次へを押下します。

そうすると、以下のような画面が立ち上がります。

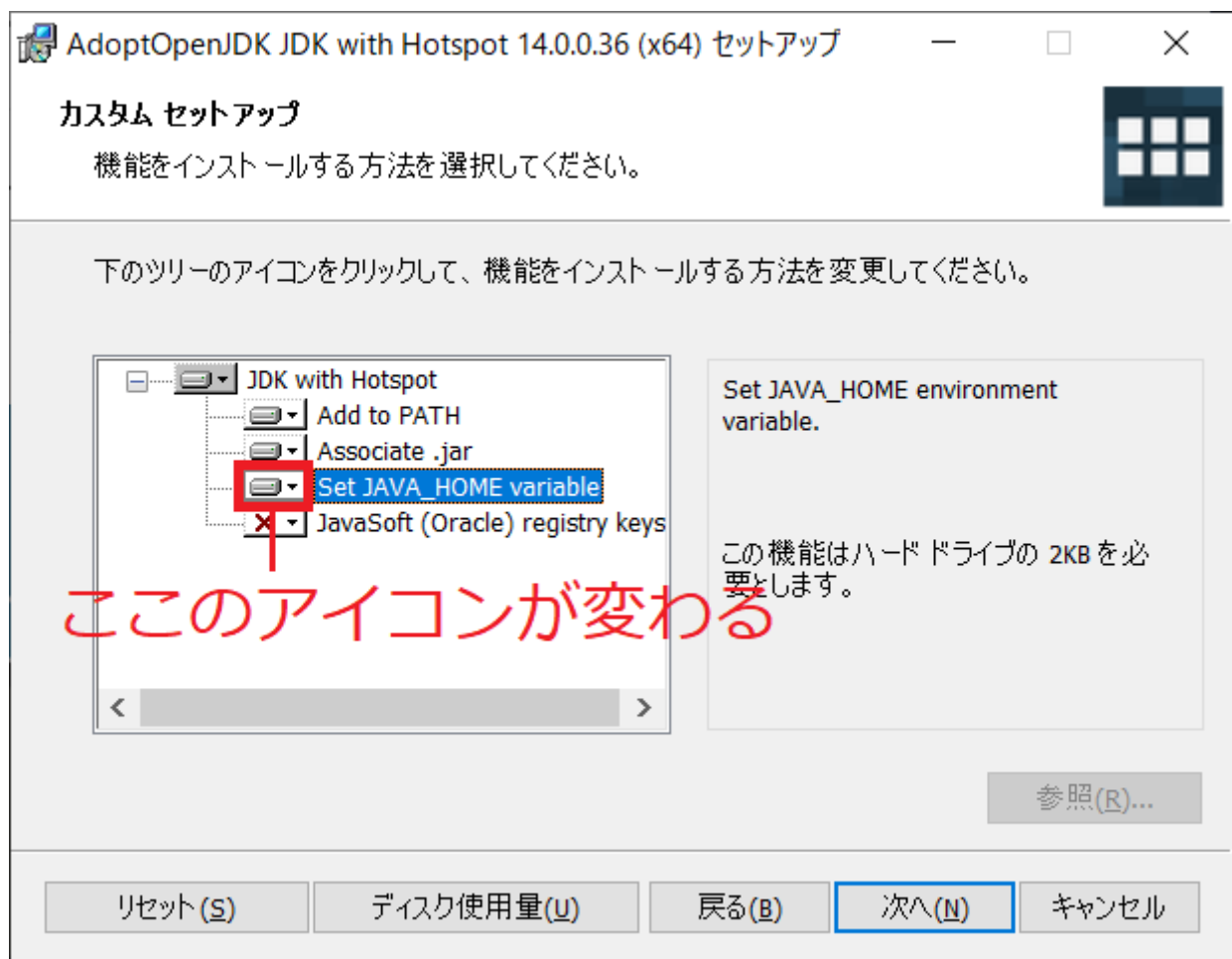


よく読んで使用許諾契約書の同意欄にチェックを入れ次へボタンを押下します。

以下のような画面が立ち上がったら `Set JAVA_HOME variable` のドロップダウンを開き **ローカルハードドライブ** にインストールを選択します。

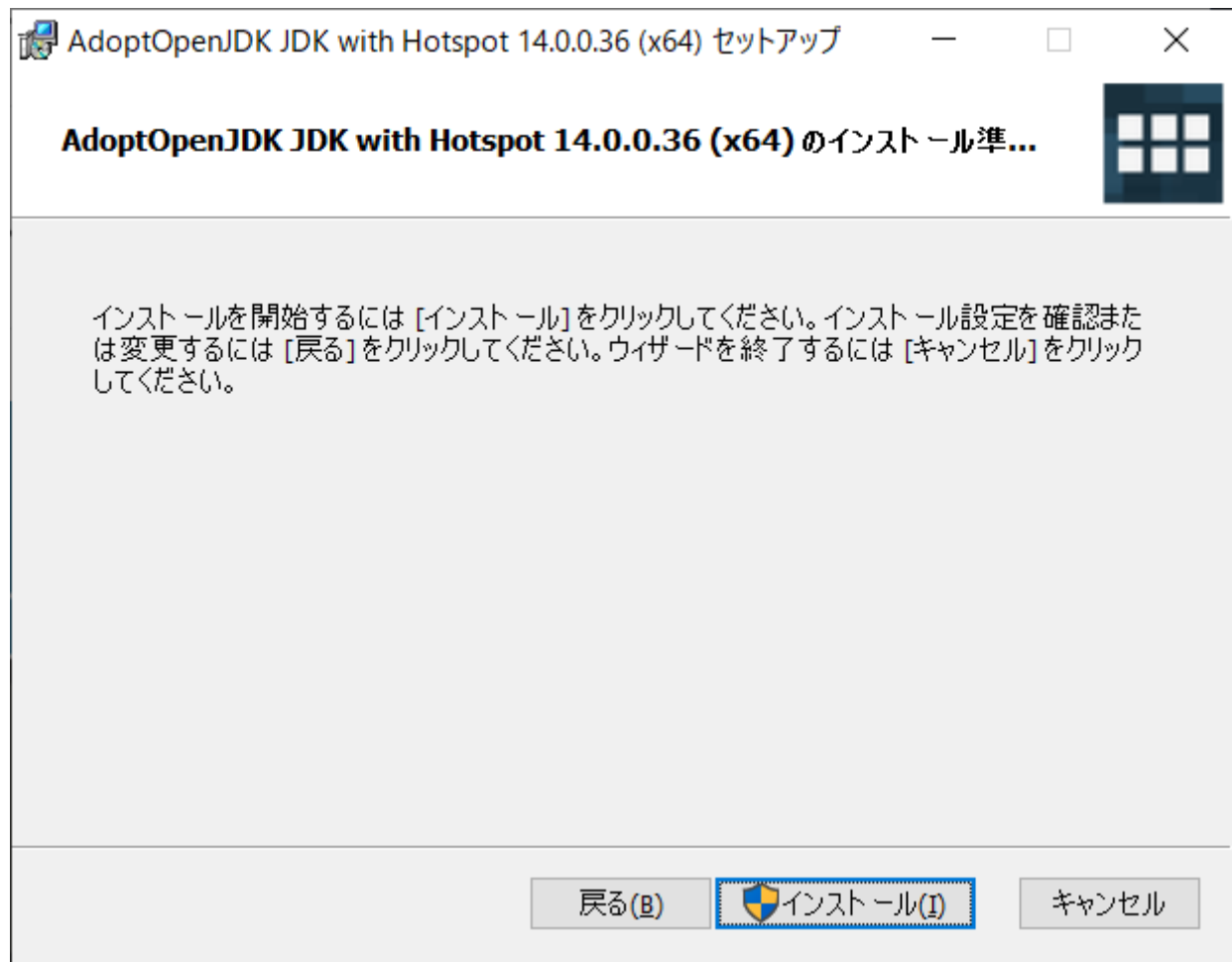


ローカルハードドライブにインストールを選択すると、アイコンが変わります。



選択が完了したら次へを押下します。

以下のような画面が立ち上がったらインストールの準備は完了です。



インストール ボタンを押下してインストールを開始します。

手順4: 確認

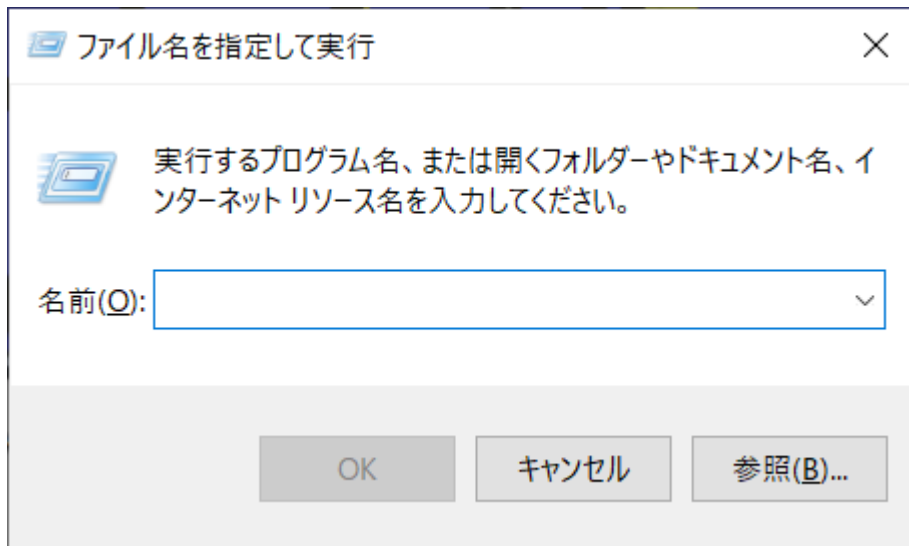
インストールの終了後、jdkが正常にインストールされているか確認します。

以下の手順で確認してください。

1. コマンドプロンプトを開く

デスクトップ画面で **Windows キー** を押下しながら **R キー** を押下します。

以下の画面が立ち上がったら、**cmd** と入力し **OK** ボタンを押下します。

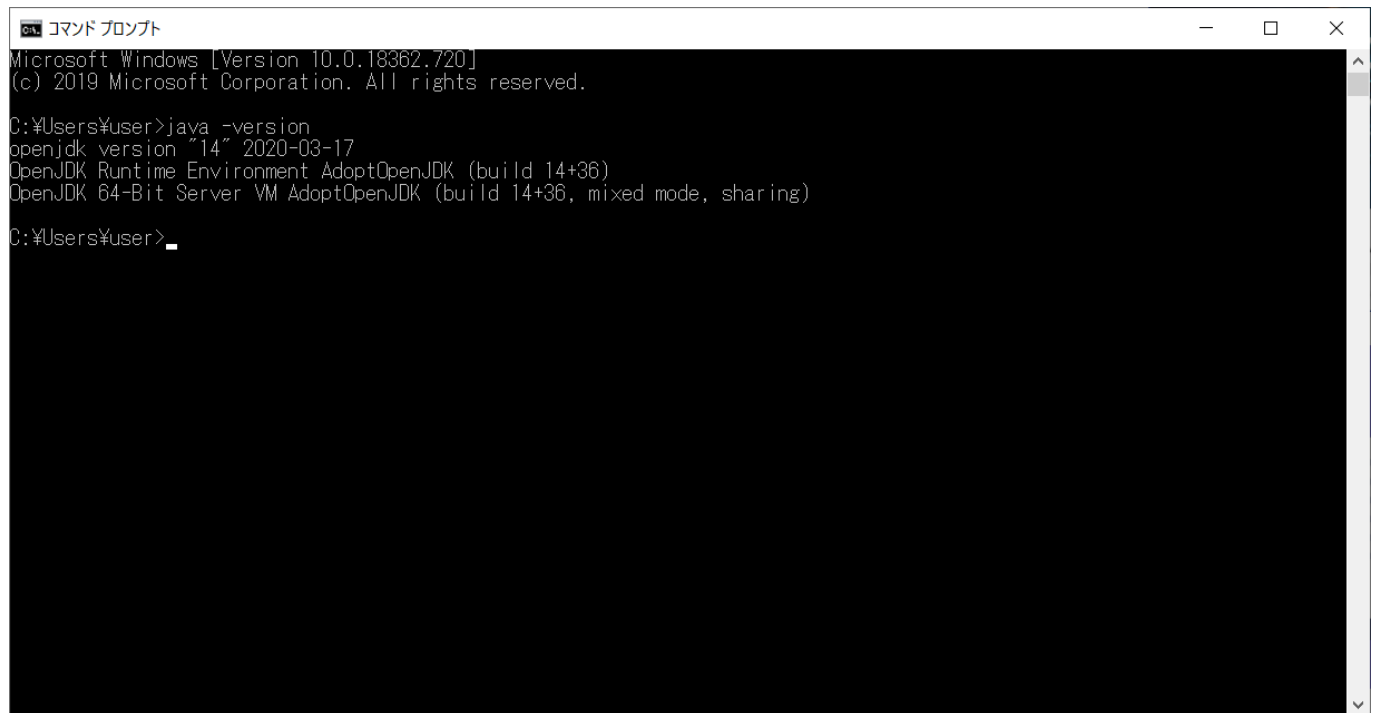


2. コマンドを入力

コマンドプロンプトが立ち上がったら、`java -version`と入力し、Enterを押下します。



3. Javaのバージョンを確認



```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.18362.720]
(c) 2019 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\User>java -version
openjdk version "14" 2020-03-17
OpenJDK Runtime Environment AdoptOpenJDK (build 14+36)
OpenJDK 64-Bit Server VM AdoptOpenJDK (build 14+36, mixed mode, sharing)

C:\Users\User>
```

3の手順で自身でインストールしたjdkと同じバージョンが表示されていれば完了です。

TA・SAに質問する際は、手順の番号の何番までできたかどこで分からなくなったか等を、文章と画像を用いて示してください。

また、Javaの環境構築はメディアコンサルタントでも対応しているので、そちらを利用しても構いません。